

試験地	受験番号	氏名

〔受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。〕
 本日の受験地..... 仮受験番号 仮-.....

平成 25 年度

2級電気工事施工管理技術検定試験

学科試験問題

〔注意事項〕

1. ページ数は、表紙を入れて 25 ページです。
2. 試験時間は、10 時 30 分から 13 時までです。
3. 問題の解答の仕方は、下記によってください。
 - 1) [No. 1]～[No. 12]までの 12 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。
 - 2) [No. 13]～[No. 32]までの 20 問題のうちから、11 問題を選択し、解答してください。
 - 3) [No. 33]～[No. 38]までの 6 問題のうちから、3 問題を選択し、解答してください。
 - 4) [No. 39]の問題は、必ず解答してください。
 - 5) [No. 40]～[No. 52]までの 13 問題のうちから、9 問題を選択し、解答してください。
 - 6) [No. 53]～[No. 64]までの 12 問題のうちから、8 問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を越えた場合は、減点となります。
5. 解答は、別の解答用紙に、HBで黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
6. 問題は、四肢択一式です。正解と思う肢の番号を次のマーク例にしたがってぬりつぶしてください。

マーク例	<input checked="" type="radio"/> ぬりつぶし
------	--

7. マークを訂正する場合は、消しかたが十分でないと指定数を越えた解答となりますので、消しゴムできれいに消して訂正してください。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、よごしたり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白を、計算などに使用することは自由です。
10. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は、回収します。

※ 問題番号〔No.1〕～〔No.12〕までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。

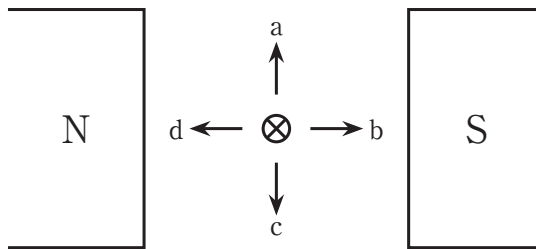
〔No. 1〕 強磁性体に該当する物質として、**適当なもの**はどれか。

1. 銀
2. 銅
3. ニッケル
4. アルミニウム

〔No. 2〕 図のように磁極間に置いた導体に電流を流したとき、導体に働く力の方向として、**正しいもの**はどれか。

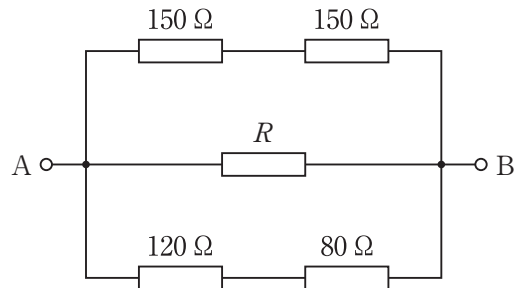
ただし、電流は紙面の表から裏へ向かう方向に流れるものとする。

1. a
2. b
3. c
4. d



[No. 3] 図に示す回路において、A-B間の合成抵抗値が60Ωであるとき、抵抗Rの値として正しいものはどれか。

1. 40Ω
2. 100Ω
3. 120Ω
4. 150Ω



[No. 4] 直流専用の指示電気計器として、適切なものはどれか。

1. 永久磁石可動コイル形計器
2. 可動鉄片形計器
3. 誘導形計器
4. 熱電形計器

[No. 5] 極数Pの三相同期発電機が1分間にN回転しているとき、起電力の周波数f〔Hz〕を表わす式として、正しいものはどれか。

1. $f = \frac{PN}{240}$ 〔Hz〕
2. $f = \frac{PN}{120}$ 〔Hz〕
3. $f = \frac{PN}{60}$ 〔Hz〕
4. $f = \frac{PN}{30}$ 〔Hz〕

[No. 6] 定格容量が 100 MV・A と 200 MV・A の変圧器を並行運転し、120 MV・A の負荷に供給するとき、変圧器の負荷分担の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

ただし、2 台の変圧器は並行運転の条件を満足しているものとする。

	100MV・A 変圧器	200MV・A 変圧器
1.	24 MV・A	96 MV・A
2.	40 MV・A	80 MV・A
3.	60 MV・A	60 MV・A
4.	80 MV・A	40 MV・A

[No. 7] 進相コンデンサを誘導性負荷に並列に接続して力率を改善した場合、電源側に生ずる効果として、**不適當なもの**はどれか。

1. 電力損失の低減
2. 電圧降下の軽減
3. 無効電流の減少
4. 周波数変動の抑制

[No. 8] 発電用に用いられる次の文章に該当するダム の名称として、**適当なもの**はどれか。

「コンクリートで築造され、水圧などの外力を主に兩岸の岩盤で支える構造で、兩岸の幅が狭く岩盤が強固な場所に造られる。」

1. アースダム
2. アーチダム
3. バットレスダム
4. ロックフィルダム

〔No. 9〕 高圧電路に使用する機器に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 柱上に用いる気中負荷開閉器(PAS)は、短絡電流を遮断できる。
2. 屋内用高圧断路器(DS)は、無負荷時の回路の開閉に用いられる。
3. 高圧交流遮断器(CB)は、負荷電流を開閉できる。
4. 高圧交流真空電磁接触器(VMC)は、開閉頻度の多い回路に用いられる。

〔No. 10〕 架空送電線に発生するコロナに関する記述として、**最も不適當なもの**はどれか。

1. 電力損失が発生する。
2. ラジオ受信障害が発生する。
3. 送電電圧が高いほうが発生しやすい。
4. 雨天時より晴天時のほうが発生しやすい。

〔No. 11〕 照明器具の配光に関する次の文章に該当する照明方式として、**最も適當なもの**はどれか。

「下方への光束が多いので一般的に照明率はよいが、陰影が濃くまぶしさを与える。」

1. 直接照明
2. 全般拡散照明
3. 間接照明
4. 半間接照明

〔No. 12〕 電気加熱方式に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 抵抗加熱は、ジュール熱を利用する。
2. アーク加熱は、電極間に生ずる放電を利用する。
3. 赤外線加熱は、赤外放射エネルギーを利用する。
4. 誘電加熱は、渦電流損とヒステリシス損を利用する。

※ 問題番号〔No.13〕～〔No.32〕までの20問題のうちから、11問題を選択し、解答してください。

〔No. 13〕 水力発電に用いられる水車において、水車形式と動作原理による分類の組合せとして、**不適当なものはどれか。**

	水車形式	動作原理による分類
1.	ペルトン水車	衝動水車
2.	フランシス水車	衝動水車
3.	斜流水車	反動水車
4.	プロペラ水車	反動水車

〔No. 14〕 変圧器の冷却方式に関する次の文章に該当するものとして、**適当なものはどれか。**

「変圧器内部の絶縁油の自然対流によって鉄心及び巻線に発生した熱を外箱に伝え、外箱からの放射と空気自然対流によって熱を外気に放散させる。」

1. 油入自冷式
2. 油入風冷式
3. 送油自冷式
4. 送油風冷式

〔No. 15〕 電力系統における保護リレーシステムの役割として、**最も不適当なものはどれか。**

1. 直撃雷から機器を保護する。
2. 過電流から機器を保護する。
3. 送配電線路の事故の拡大を防ぐ。
4. 故障した機器を電路から切り離す。

[No. 16] 架空送電線の電線のたるみの近似値 D [m] を求める式として、**正しいものはどれか**。
ただし、電線支持点の高低差はないものとする。

S : 径間 [m]

T : 電線の水平張力 [N]

W : 電線の単位長さ当たりの重量 [N/m]

1. $D = \frac{WS^2}{3T}$ [m]

2. $D = \frac{SW^2}{3T}$ [m]

3. $D = \frac{WS^2}{8T}$ [m]

4. $D = \frac{SW^2}{8T}$ [m]

[No. 17] 架空送電線路のねん架の目的として、**適当なものはどれか**。

1. 電線に加わる風圧荷重を低減させる。
2. 電線の振動エネルギーを吸収させる。
3. 異常電圧によるフラッシュオーバの発生を防止する。
4. 各相の作用インダクタンスと作用静電容量を平衡させる。

[No. 18] 架空送電線が通信線に及ぼす電磁誘導障害を軽減するための対策として、**最も不適当なものはどれか**。

1. 故障回線を迅速に遮断する。
2. 送電線と通信線の離隔距離を大きくする。
3. 架空地線に抵抗率の低い材料を使用する。
4. 中性点接地方式として直接接地方式を採用する。

[No. 19] 高圧配電線路で一般的に採用されている中性点接地方式として、**適当なもの**はどれか。

1. 非接地方式
2. 低抵抗接地方式
3. 高抵抗接地方式
4. 消弧リアクトル接地方式

[No. 20] 高圧配電線路に用いられる地絡方向継電器において、地絡電流の方向を判定する要素として、**適当なもの**はどれか。

1. 線間電圧と負荷電流の位相差
2. 零相電圧と零相電流の位相差
3. 線間電圧と負荷電流の大きさ
4. 零相電圧と零相電流の大きさ

[No. 21] 光束法による屋内の照度計算に用いる保守率の決定要因として、**関係のないもの**はどれか。

1. 照明器具の清掃回数
2. 光源(ランプ)の種類
3. 使用環境
4. 室指数

[No. 22] 電気使用場所において、三相誘導電動機が接続されている使用電圧 200 V の電路と大地との間の絶縁抵抗値として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**定められているものはどれか。**

1. 0.1 MΩ 以上
2. 0.2 MΩ 以上
3. 0.3 MΩ 以上
4. 0.4 MΩ 以上

[No. 23] 電気使用場所内の変圧器より供給される場合の低圧幹線の電圧降下として、「内線規程」上、**定められているものはどれか。**

ただし、変圧器の二次側端子から最遠端の負荷までのこう長は 60 m 以下とする。

1. 2 % 以下
2. 3 % 以下
3. 4 % 以下
4. 5 % 以下

[No. 24] 開放形高圧受電設備と比較したキュービクル式高圧受電設備に関する記述として、**最も不適当なものはどれか。**

1. 金属製外箱に収納されているので感電の危険性が少ない。
2. 設備の占有面積を少なくできる。
3. 現地における据付や配線の作業量が削減できる。
4. 変圧器などの大型機器の更新が容易である。

〔No. 25〕 キュービクル式高圧受電設備の設置後，受電前に行う自主検査として，**一般的には行われないもの**はどれか。

1. 接地抵抗測定
2. 絶縁抵抗測定
3. インピーダンス試験
4. インターロック試験

〔No. 26〕 据置鉛蓄電池に関する記述として，**不適當なもの**はどれか。

1. 温度が高いほど，自己放電は大きくなる。
2. 放電すると，電解液の比重は上がる。
3. 制御弁式鉛蓄電池(MSE形)は，電解液への補水が不要である。
4. 電解液は，希硫酸である。

〔No. 27〕 低圧屋内配線の工事の種類のうち，「電気設備の技術基準とその解釈」上，**湿気の多い場所に施設できないもの**はどれか。

1. 合成樹脂管工事
2. 金属管工事
3. 金属ダクト工事
4. ケーブル工事

[No. 28] 自動火災報知設備の P 型 1 級発信機に関する記述として、「消防法」上、**定められていないものはどれか。**

1. 各階ごとに、その階の各部分から一の発信機までの歩行距離が 25 m 以下となるように設けること。
2. 床面からの高さが 0.8 m 以上 1.5 m 以下の箇所に設けること。
3. 発信機の直近の箇所に赤色の表示灯を設けること。
4. 押しボタンスイッチの保護板は、透明の有機ガラスを用いること。

[No. 29] 避難口誘導灯を A 級又は B 級のもの（表示面の明るさが 20 cd 以上のもの又は点滅機能を有するもの）としなければならない防火対象物として、「消防法」上、**定められているものはどれか。**

ただし、防火対象物は、複合用途ではないものとする。

1. 図書館
2. 美術館
3. 工場
4. 地下街

[No. 30] 建物の入退室管理設備に用いる機器として、**最も関係のないものはどれか。**

1. 暗証番号入力装置
2. ICカードリーダー
3. ループコイル
4. 指紋照合装置

[No. 31] 交流電気鉄道に採用されているき電方式の記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. BTき電方式は、吸上変圧器を使用する方式である。
2. ATき電方式は、単巻変圧器を使用する方式である。
3. 同軸ケーブルき電方式は、同軸電力ケーブルを使用する方式である。
4. 直接き電方式は、シリコンダイオード整流器を使用する方式である。

[No. 32] 連続する道路照明の平均路面輝度 L を光束法により求める式において、一般に用いられている記号とその内容として、**不適當なもの**はどれか。

$$L = \frac{FNUM}{SWK} \quad [\text{cd/m}^2]$$

ただし、 N ：灯具の配列による係数

M ：保守率

K ：平均照度換算係数 [$\text{lx}/(\text{cd/m}^2)$]

1. F ：灯具1灯当たりの光度 [cd]
2. U ：照明率
3. W ：車道の幅員 [m]
4. S ：灯具の間隔 [m]

※ 問題番号 [No.33]～[No.38] までの 6 問題のうちから、3 問題を選択し、解答してください。

[No. 33] 建物の給水設備におけるポンプ直送方式に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 給水圧力を確保するために、屋上に高置水槽が必要である。
2. 停電により給水ポンプが停止すると、給水が不可能となる。
3. 建物内の必要な箇所へ、受水槽の水を給水ポンプで送る方式である。
4. 給水ポンプをインバータ制御することにより、給水圧力がほぼ一定に保たれる。

[No. 34] 土木工事における盛土材料に求められる性質として、**不適當なもの**はどれか。

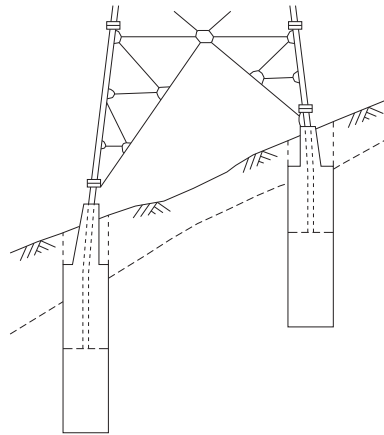
1. 締固めの施工が容易であること。
2. 吸水による膨張が大きいこと。
3. せん断強度が大きいこと。
4. 圧縮性が小さいこと。

[No. 35] 建設作業とその作業に使用する建設機械の組合せとして、**不適當なもの**はどれか。

	建設作業	建設機械
1.	削岩	ドリフタ
2.	掘削	バックホウ
3.	締固め	モータグレーダ
4.	杭打ち	振動パイルハンマ

[No. 36] 図に示す送電用鉄塔の基礎の名称として、**適当なもの**はどれか。

1. くい基礎
2. 深礎基礎
3. 逆 T 字型基礎
4. アンカー基礎



[No. 37] 鉄道に関する用語の定義について、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」上、**不適当なもの**はどれか。





1. 本線とは、列車の運転に常用される線路をいう。
2. 信号場とは、専ら列車の行き違い又は待ち合わせを行うために使用される場所をいう。
3. 車庫とは、専ら車両の入換え又は列車の組成を行うために使用される場所をいう。
4. 列車とは、停車場外の線路を運転させる目的で組成された車両をいう。

[No. 38] 鉄筋コンクリート構造の事務所ビルにおける、スラブのコンクリート打設後の一般的な鉄筋工事の工程として、**最も適当なもの**はどれか。

1. 壁配筋 → 柱配筋 → 上階のスラブ配筋 → 梁配筋
2. 柱配筋 → 梁配筋 → 上階のスラブ配筋 → 壁配筋
3. 壁配筋 → 柱配筋 → 梁配筋 → 上階のスラブ配筋
4. 柱配筋 → 壁配筋 → 梁配筋 → 上階のスラブ配筋

※ 問題番号 [No.39] の問題は、必ず解答してください。

[No. 39] テレビ共同受信設備に用いる配線用図記号と名称の組合せとして、「日本工業規格(JIS)」
上、誤っているものはどれか。

	図記号	名 称
1.		テレビジョンアンテナ
2.		混合・分波器
3.		2分配器
4.		ヘッドエンド

※ 問題番号〔No.40〕～〔No.52〕までの13問題のうちから、9問題を選択し、解答してください。

〔No. 40〕 水力発電所の建設工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 接地として、発電所の敷地に網状に接地線をめぐらし、多数の銅板を埋設した。
2. 建屋内の天井クレーンは、主要機器の据付け前に設置した。
3. 立て軸の水車と発電機の心出しは、ピアノ線センタリング方式で行った。
4. 目視試験のみで、ケーシングの現場溶接箇所を欠陥を調べた。

〔No. 41〕 高圧架空電線にケーブルを使用する場合の記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、不適当なものはどれか。

1. ちょう架用線には、断面積 22 mm^2 以上の亜鉛めっき鉄より線を使用した。
2. ちょう架用線には、D種接地工事を施した。
3. ケーブルとちょう架用線とを容易に腐食しがたい金属テープにて、20 cm の間隔でらせん状に巻き付けた。
4. ケーブルをちょう架するハンガの間隔は、60 cm とした。

〔No. 42〕 金属線び工事による低圧屋内配線に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、誤っているものはどれか。

ただし、使用電圧は100 Vとし、線びは電気用品安全法の適用を受ける一種金属製線びとする。

1. 電線を線び内で接続して分岐した。
2. 電線にビニル電線(IV)を使用した。
3. 乾燥した点検できる隠ぺい場所に施設した。
4. 線びの長さが3 mなので、D種接地工事を省略した。

[No. 43] 電気鉄道におけるパンタグラフの離線防止対策に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. トロリ線の波動伝播速度を向上させる。
2. トロリ線の接続箇所を少なくする。
3. トロリ線の勾配変化を少なくする。
4. トロリ線の架線金具を重くする。

[No. 44] 情報通信設備における屋内配線に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 電話設備の幹線に、着色識別ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル(CCP-P)を使用した。
2. 非常放送設備の遠隔操作器の配線に、市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル(CPEV)を使用した。
3. 防犯設備の監視カメラの配線に、高周波同軸ケーブル(5C-2V)を使用した。
4. 保守用インターホン設備の配線に、警報用ポリエチレン絶縁ケーブル(AE)を使用した。

[No. 45] 新築工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書に記載するものとして、**最も関係のないもの**はどれか。

1. 現場施工体制表
2. 総合工程表
3. 機器承諾函
4. 官公庁届出書類一覧

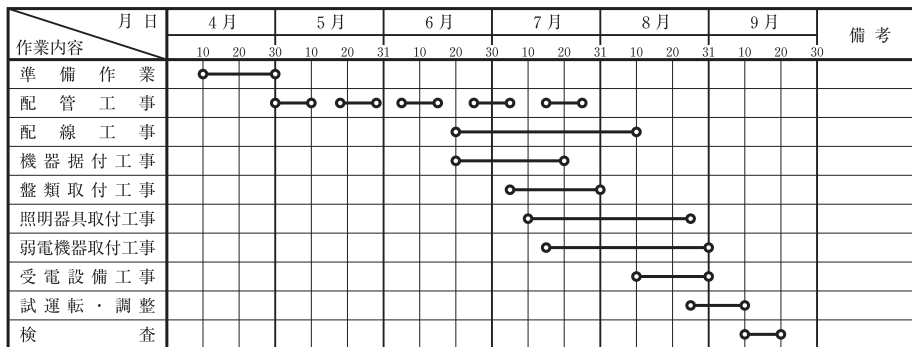
〔No. 46〕 大型機器の搬入計画を立案する場合の確認事項として、最も関係のないものはどれか。

1. 運搬車両の駐車位置と待機場所
2. 作業に必要な有資格者
3. 作業員の健康診断記録
4. 搬入口の位置と大きさ

〔No. 47〕 工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

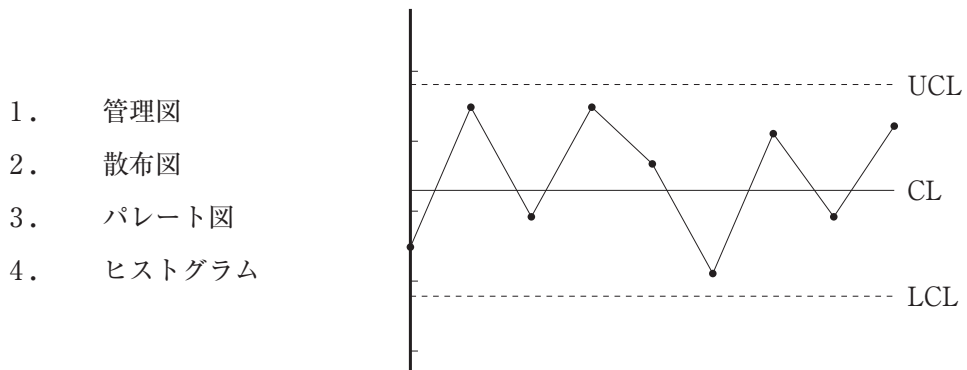
1. 月間工程の管理は、毎週の工事進捗度を把握して行う。
2. 作業改善による工期短縮の効果を予測するには、危険予知活動が有効である。
3. 主要機器の手配は、承諾期間、製作期間、総合工程を考慮して行う。
4. 施工完了予定日から所要期間を逆算して、各工事の開始日を設定する。

〔No. 48〕 図に示す工程表の種類として、適当なものはどれか。



1. タクト工程表
2. バーチャート工程表
3. ガントチャート工程表
4. ネットワーク工程表

[No. 49] 図に示す品質管理に用いる図表の名称として、**適当なもの**はどれか。



[No. 50] 電気設備の試験に用いる測定器と使用目的の組合せとして、**不適當なもの**はどれか。

	測定器	使用目的
1.	検相器	相順の確認
2.	検電器	充電の有無の確認
3.	絶縁抵抗計	接地抵抗の測定
4.	回路計(テスタ)	電圧の測定

〔No. 51〕 作業主任者を選任すべき作業として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. アセチレン溶接装置を用いて行う金属の溶接の作業
2. 分電盤にケーブルを接続する活線近接作業
3. 土止め支保工の切りばりの取付けの作業
4. 張出し足場の組立ての作業

〔No. 52〕 昇降設備の設置に関する次の文章中、 に当てはまる語句として、「労働安全衛生法」上、定められているものはどれか。

「事業者は、高さ又は深さが をこえる箇所で作業を行うときは当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならない。」

1. 1.5 m
2. 2 m
3. 3 m
4. 5 m

※ 問題番号〔No.53〕～〔No.64〕までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。

〔No. 53〕 一般建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 建設業の許可は、建設工事の種類に対応する建設業ごとに受けなければならない。
2. 営業所ごとに置く専任の技術者を変更した場合は、変更の届出を行わなければならない。
3. 第1種電気工事士は、電気工事業の営業所ごとに置く専任の技術者になることができる。
4. 都道府県知事の許可を受けた建設業者は、他の都道府県において工事を施工することができない。

〔No. 54〕 工事現場における主任技術者又は監理技術者に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 2級電気工事施工管理技士は、工事現場における電気工事の監理技術者になることができる。
2. 公共性のある施設に関する重要な建設工事で政令で定めるものを請け負った場合、その現場に置く主任技術者又は監理技術者は、工事現場ごとに専任の者でなければならない。
3. 一般建設業の許可を受けた電気工事業者は、下請負人として電気工事を請け負った場合、その請負金額にかかわらず、当該工事現場に主任技術者を置かなければならない。
4. 主任技術者及び監理技術者は、当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理を行わなければならない。

〔No. 55〕 電気工作物に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。

1. 一般用電気工作物を設置する者は、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせるため、主任技術者を選任しなければならない。
2. 自家用電気工作物を設置する者は、保安を一体的に確保することが必要な自家用電気工作物の組織ごとに保安規程を定めなければならない。
3. 電気工作物は、一般用電気工作物と事業用電気工作物に分けられる。
4. 事業用電気工作物は、電気事業の用に供する電気工作物と自家用電気工作物に分けられる。

〔No. 56〕 電気工事に使用する機材のうち、「電気用品安全法」上、電気用品として定められていない種類はどれか。

1. ケーブルラック
2. ヒューズ
3. 配線器具
4. 電線管

〔No. 57〕 電気工事士等に関する記述として、「電気工事士法」上、誤っているものはどれか。

1. 第1種電気工事士は、一般用電気工作物に係る電気工事の作業に従事できる。
2. 第2種電気工事士は、自家用電気工作物に係る簡易電気工事の作業に従事できる。
3. 特殊電気工事の種類には、ネオン工事と非常用予備発電装置工事がある。
4. 電気工事士免状は、都道府県知事が交付する。

〔No. 58〕 電気工事業者が営業所に備える帳簿において、電気工事ごとに記載しなければならない事項として、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」上、定められていないものはどれか。

1. 営業所の名称および所在の場所
2. 電気工事の種類および施工場所
3. 施工年月日
4. 検査結果

〔No. 59〕 建築物等に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 体育館は、特殊建築物である。
2. 屋根は、主要構造部である。
3. 防火戸は、建築設備である。
4. ロックウールは、不燃材料である。

〔No. 60〕 消防設備士に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 消防設備士免状の種類には、甲種消防設備士免状及び乙種消防設備士免状がある。
2. 乙種消防設備士の免状の種類は、第1類から第7類の指定区分に分かれている。
3. 乙種消防設備士は、政令で定める消防用設備の工事を行うことができる。
4. 政令で定める消防用設備等の工事を行うときは、着工届出書を消防長又は消防署長に提出しなければならない。

[No. 61] 特定元方事業者が選任し、統括安全衛生責任者が統括管理すべき事項のうち技術的事項を管理させる者として、「労働安全衛生法」上、**定められているものはどれか。**

1. 安全管理者
2. 元方安全衛生管理者
3. 店社安全衛生管理者
4. 統括安全衛生管理者

[No. 62] 事業者が労働基準監督署長に提出しなければならない報告書に関する記述として、「労働安全衛生法」上、**誤っているものはどれか。**

1. 事業場で火災が発生したときは、遅滞なく、報告書を提出しなければならない。
2. ゴンドラのワイヤロープが切断した事故が発生したときは、遅滞なく、報告書を提出しなければならない。
3. 死亡又は休業4日以上を要する労働災害が発生したときは、遅滞なく、報告書を提出しなければならない。
4. 休業の日数が4日に満たない労働災害が発生したときは、1年分をまとめて、翌年1月末日までに、報告書を提出しなければならない。

[No. 63] 労働契約等に関する記述として、「労働基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 使用者は、労働契約の不履行について違約金を定め、又は損害賠償額を予定する契約をしてはならない。
2. 労働者は、労働契約で明示された労働条件が事実と相違する場合においては、即時に労働契約を解除することができる。
3. 使用者は、雇入、解雇その他労働関係に関する重要な書類を3年間保存しなければならない。
4. 使用者は、労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間が3年を経過した場合は、無条件で解雇することができる。

[No. 64] 公害の要因として、「環境基本法」上、定められていないものはどれか。

1. 振動
2. 悪臭
3. 妨害電波
4. 地盤の沈下